

<化学療法予約箋>

プロトコール名	初回トラスツズマブ+ TXL(weekly)療法
病名	胃がん

プロトコール

薬品名	成分名	基準値	施行日	休薬
トラスツズマブ	トラスツズマブ	8 mg/kg/day	Day1	20日
トラスツズマブ	トラスツズマブ	6 mg/kg/day	Day22、Day43、Day64	
<3週毎>				
パクリタキセル	パクリタキセル	80 mg/m ² /day	Day1、8、15 (Day29、36、43) (Day57、64、71)	13日
<4週毎>				

	Day1	Day8	Day15	Day22	Day29	Day36
トラスツズマブ						
パクリタキセル						

	Day43	Day50	Day57	Day64	Day71	Day78
トラスツズマブ						
パクリタキセル						

Day1

- ①(メイン)生食50mlでルート確保 (点滴挿入確認後、フラッシュ分残す)
- ②(側管)生食250ml + トラスツズマブ (90分)
*5分、10分、20分、30分、60分、終了時観察
- ③(側管) グラニセロンハッグ100ml+オルガドロン(1.9mg) × 5A+ファモチジン(20mg) 1A+ボララミン1A (30分)
- ④(側管) 5%ブドウ糖 250ml + パクリタキセル (60分)
*0.22ミクロン以下のインラインフィルター使用 DEHP(可塑性)フリーのルート
*5分、10分、20分、30分、終了時観察
- ⑤ ①の生食50ml残液でフラッシュ

Day8 Day15 Day29 Day36 Day57 Day71

- ①(メイン)生食50mlでルート確保 (点滴挿入確認後、フラッシュ分残す)
- ②(側管) グラニセロンハッグ100ml+オルガドロン(1.9mg) × 5A+ファモチジン(20mg) 1A+ボララミン1A (30分)
- ③(側管) 5%ブドウ糖 250ml + パクリタキセル mg1時間かけて点滴静注
DEHP(可塑性)フリーのルート使用
パクリタキセル投与開始前、10分後、30分後、投与終了時血圧・脈拍測定
- ④①の生食50mlの残液でフラッシュ

Day22

- ①(メイン)生食50mlでルート確保 (点滴挿入確認後、フラッシュ分残す)
- ②(側管)生食250ml + トラスツズマブ mgを点滴静注
90分の忍容性あれば60分まで、60分の忍容性あれば30分まで投与時間の短縮可
- ③①の生食50mlの残液でフラッシュ (②と同速度)

Day43 Day64

- ①(メイン)生食50mlでルート確保 (点滴挿入確認後、フラッシュ分残す)
- ②(側管)生食250ml + トラスツズマブ mgを点滴静注
90分の忍容性あれば60分まで、60分の忍容性あれば30分まで投与時間の短縮可
- ③①の生食50mlの残液でフラッシュ (②と同速度)
- ④(メイン)生食50mlでルート確保 (点滴挿入確認後、フラッシュ分残す)
- ⑤(側管) グラニセロンハッグ100ml+オルガドロン(1.9mg) × 5A+ファモチジン(20mg) 1A+ボララミン1A (30分)
- ⑥(側管) 5%ブドウ糖 250ml + パクリタキセル mg1時間かけて点滴静注
DEHP(可塑性)フリーのルート使用
パクリタキセル投与開始前、10分後、30分後、投与終了時血圧・脈拍測定
- ⑦④の生食50mlの残液でフラッシュ

備考